

日本共産党 青森市政だより

発行 日本共産党青森市議団
〒030-0822 青森市中央1-22-5 市議会日本共産党控室

連絡先

市議会日本共産党控室 ☎ 017-734-1111
(内線) 6017
直通・FAX兼用 ☎ 017-722-8904
メールアドレス kyosant@grace.ocn.ne.jp
日本共産党東青地区委員会 ☎ 017-777-7241

ご意見・ご相談をお気軽にお寄せ下さい。

議会報告



浜菊 (はまぎく)

アウガ支援条例案可決

— 日本共産党賛成 —

市議会は、9月28日、本会議で、債務超過に陥っている「アウガ」を支援する条例案を賛成多数で可決しました。

市議会は、同様の条例案を6月議会で廃案、7月臨時議会で否決していましたが、反対していた日本共産党は、当面の破産回避を理由に賛成に回り、自民清風会は、市長退陣の道をつけるとして賛成し、可決となりました。

賛成討論にたった共産党の藤原浩平市議団長は、今後の見通しが不透明である状況に変わりはなく、アウガの公共化をどのように進めていくのかが一番大事。会社の整理手続き前に方向を明確にする必要がある」と述べ、市に対し公共化への具体的な構えとスケジュールを一日も早く示すことを要求しました。

藤原団長は、条例案が否決され、資金繰りがつかず破産状態となつてから公共化という道のりを作るとは非常に厳しくなると述べ、「営業と雇用への影響を最低限にとどめ、将来へ向けた光が見える方向へ向かうこと

で、事態を動かしたい」との考えを示し、賛成を表明しました。

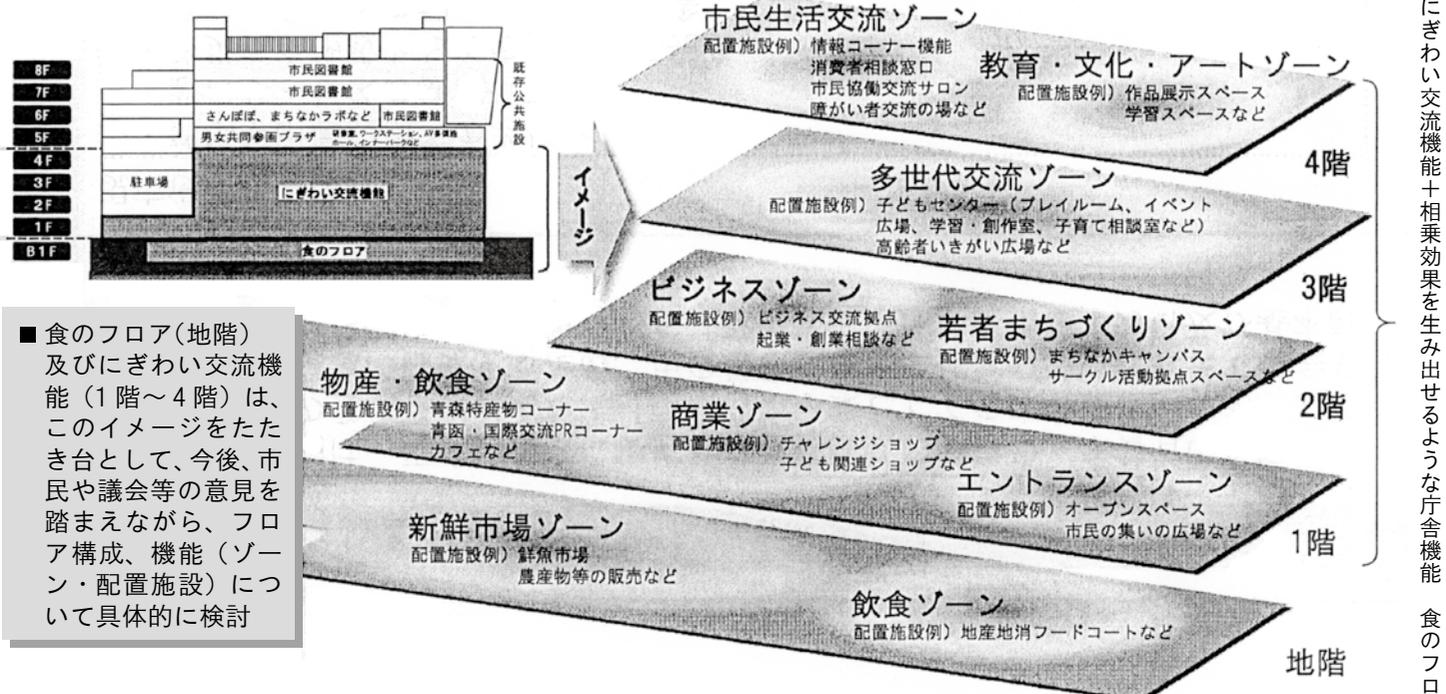
条例案の可決により、同ビルは来年3月までの運転資金は確保されることになり、アウガ公共化に向け一歩前進となります。

公共化へ向け一歩前進

新生アウガのフロアイメージ

（「新生アウガを目指して（案）」平成28年5月2日修正版・青森市）

■ 中心市街地活性化を牽引する核的施設としての役割を發揮させるため、他の計画等と連携を図りながら、にぎわいの創出に貢献できる機能（ゾーン・配置施設）を基本に配置するとともに、アウガのにぎわい交流機能との相乗効果を生み出せるような庁舎機能の配置を検討する。



■ 食のフロア(地階)及びにぎわい交流機能(1階~4階)は、このイメージをたたき台として、今後、市民や議会等の意見を踏まえながら、フロア構成、機能(ゾーン・配置施設)について具体的に検討

※にぎわい交流機能として導入する機能が、既存公共施設と類似する場合は、既存公共施設との連携や既存公共施設の再配置も含め検討
※それぞれの機能の管理運営方法は、具体的に導入する機能の検討と併行して、関係団体等と検討



館田るみ子

トイレトペーパー14万個分 給食の牛乳パックリサイクルを

かつて経験したことがないような猛烈な豪雨や竜巻などの災害が繰り返され、指摘されてきた地球温暖化の影響が日本でも、世界各地でも始まっています。

原因は温室効果ガス(主に二酸化炭素)の急増です。自治体でCO₂を一番多く排出している施設は、ごみの焼却施設です。焼却施設から、ごみの発生抑制と減量化が急がれています。

館田るみ子市議は、これまでごみの減量化を進めるために有効だと思われ、黄色の指定ゴミ袋まで買わせて強制的に協力させているのに、リサイクル出来る段ボールやコピー紙が入っている生ごみの資源化に取り組むよう求めました。

また、可燃ごみの14%をしめている生ごみの資源化に取り組むよう求めました。

市内の小中学校で使用された牛乳パックは、1年間では、40・2トン。現在、油川中学校など19校で、児童生徒が牛乳パックを洗い、リサイクルに回しています。しかし、残りの35トンはお金をかけて焼却しています。

牛乳パックは、良質の新しいパルプでつくられるように全校生徒が取り組んでいく学校を経験させていくべきです。全市をあげて『学校給食用牛乳パックリサイクル事業』に取り組んでいる京都市などの市町村もあると紹介し「温暖化の危機から地球を守るために、子どもたちと力を合わせて、牛乳パックの資源化に取り組むよう」強く求めました。



村川みどり

早期発見へ

乳がん検診の充実を

厚生省が発表している「全国平均寿命」は男女共に青森県が最下位となっています。その中でも「がん」による死亡率が高いこと、働き盛りの男性の死亡率が、長野県の2倍であることが、大きな要因です。

平成26年の青森県のがん死亡数の割合は29・4%で、死因第2位の心疾患の2倍の割合を占め、いかに多くの方が「がん」で亡くなっているかがわかります。

女性の罹患数第2位の「乳がん」では、日本の女性の半数以上が密度の濃い「高濃度乳腺」であるといわれています。マンモグラフィだけでは異常が見つけないため、自治体によっては、検診結果の通知において、検診受診者に「高濃度乳腺」であることを通知する仕組みを作っています。本市も「高濃度乳腺」であることを通知すべきではないかと質問しました。

木浪龍太健康福祉部理事は、「検診受診者への『高濃度乳腺』の通知については、国の指針においては取り扱いが定められていない。本市の乳がん検診を実施している医療機関は8医療機関あり、このうち4医療機関では『高濃度乳腺』であることを通知している。今後は、すべての医療機関において、『高濃度乳腺』であることの通知の実施に向け、今年度中をメドに関係機関と協議したい」と答弁しました。

村川市議は、本市のがん死亡率の高さと改善率の低さが突出していることを紹介し、こうした現状を直視するならば、他都市よりも早期にがんの発見できる方法を取り入れる必要があることを強く強調しました。

木浪健康福祉部理事は「国における検診会の中間報告では、超音波の併用によってがんの発見率が高いとの報告がある一方で、要精密検査の割合も増え、不利益も増す形となり、検証が必要」と報告がなされたこと答弁。

村川市議は、いかに早期に有効な方法や手段を取り入れるか、という視点が問われていることを強調しました。



天内しんや

早急に 後任の浪岡区長任命を

浪岡区長の工藤清泰氏が7月7日に辞職を発表し、新区長任命の間、浪岡事務所の棟方牧人副所長が職務代理者として区長職を兼務してきました。

区長は、浪岡地域自治区において、地域の代表であるとともに、地域振興に努め、情報発信していただくべく、必要な存在です。

天内しんや市議は9月8日の一般質問で「浪岡地域自治区の行政全般を引き続き維持していくために、できる限り早く後任の浪岡区長を選任すべきでないか」と市議を求めました。

鹿内市長は「後任の区長については現在検討を進めている」と答えました。天内市議は「浪岡地域自治区協議会を始めとした関係者に対して、区長不在の状況を説明し理解を得ること、努力を足す運びさらに努力をすべき」と強く指摘しました。

区内でリーダーを養成していくので考えていない」と答弁しました。

天内市議は「支援嘱託員は、年間155日も地域に出向き支援している現状にある。負担を軽くし、防災力向上のためには増員が必要だ」と強く求めました。

自主防災組織 支援嘱託員増員を

天内市議は防災訓練や、町内会主催の避難所開設訓練に参加した経験や、自主防災組織の取り組みを進めていく上で課題について市の見解を求めました。

鈴木総務部長は「自主防災組織については、一部の関係者のみで訓練が実施されており、参加者の拡大、特に若い世代の



藤原 浩平

原別小学校

樹木の剪定もとめる

藤原浩平市議は、9月議会決算特別委員会、「原別小学校の樹木の剪定」と「造道小学校の通学路の安全対策」について質問しました。

原別小学校校庭西側の田んぼに接した場所にイチヨウやナナカマドの木が植えられています。秋になると落ち葉が田んぼの水路に落ちて掃除が大変だと田んぼの持ち主から苦情が寄せられています。学校からも教育委員会に対して枝の剪定をしてほしいとの要望が出されています。

藤原市議は、「近所の農業者からの苦情をしっかりと受け止め、迷惑をかけるないように、伐採か強い剪定をするべきだ」と求めました。石澤教育部長は「剪定はすでに終わっています」と答弁。

藤原市議は「事実と違う。境界からはみ出たぶんだけほんの少し枝を切っただけだ。現場をしっかりと確認するべきだ」と強く求めました。また、校庭の南側の道路に枝が張り出している桜の枝もトラックなどにぶつかる危険があるのでこれも剪定するよう求めました。

通学路の安全確保を

造道小の通学路になっている旧国道(元保健所西角信号から造道小前バス停まで)は、車道と歩道を分ける縁石もなく、登校時間は車の往来も激しく、通学の列に自動車が出た瞬間に発生する危険な状態です。藤原市議は「歩道部分に注意喚起のためカラー塗装を施すなど、有効な対策をとるべきだ」と求めました。石澤教育部長は「通学路の交通安全をすすめる検討をする」と答えました。



かさい育弘

冬場危険な道路

早急な安全対策を

県事業で、牛館橋から上野地区に抜けるバス通りとその沿線では、毎年車が滑り脱輪している場所です。

現在は、ほ場整備により道路との段差がさらに大きくなり脱輪だけでなく、ほ場整備の実施主体である県に対し、安全対策の実施を要望し協議している」と答弁しました。かさい市議は再質問で「今冬までに県が安全対策を充分出来なかった時の市の対応を示せ」と求めました。都市整備部理事は「まずは県との協議を進めるが、現場を確認し必要であればカーブ等にスノーポールの設置を検討する」と答弁しました。



冬場脱輪事故の対策が必要な道路



山脇さとし

青い森セントラルパーク

駐車場のアスファルト舗装もとめる

青い森セントラルパークは、2013年3月に青森操車場跡地利用計画審議会から、防災機能を備えた公園としての利用、新駅設置を含む交通結節点としての利用、公共的な施設の建設用地としての利用について、答申が出されています。

しかし現在に至っても、具体的な計画の検討、策定はなされていません。

山脇さとし市議は「青い森セントラルパークについては答申に沿って、防災公園としての整備や新駅の設置について計画を進めてほしいという思いはあるが、ただアウガ公共化、新庁舎整備、青森駅建て替えなど大規模な事業が同時進行している現状では、早期に整備を進めることが難しいという認識もある」と述べ、「そうなのであれば、今の公園として多くの方に利用されているので、利用者に不便がないよう維持、管理、整備を行うてほしい」と求めました。

そのうえで「青い森セントラルパークの駐車場はアスファルト舗装をしたため、雨が降れば水たまりだらけになり、利用者から苦情が寄せられている」と現状を示し「アスファルト舗装をするべきではないか」と提案しました。

八戸都市整備部理事は「アスファルト舗装をすることは難しいが、定期的なダスト舗装で対応している」と答えました。

山脇市議は「計画に基づいた青い森セントラルパークの整備がいつになるかわからない以上、アスファルト舗装も検討するべきだ」とさらなる対応を求めました。

除雪作業の効率化へ

今冬から除排雪車両にGPSシステム導入へ



昨冬の除排雪作業の様子

かさい市議は4年前から、議会で除排雪車両にGPSシステムを導入することに決めた。またGPSシステム導入の先進自治体である、新潟県上越市や秋田市を視察し調査・研究を重ねてきました。

位置を把握できる管理システムの導入に要する経費等を措置する」と今冬から除排雪車両へのGPSの本格導入に向けた予算措置を行うことを明らかにしました。

かさい市議は9月議会一般質問で、「GPS端末を利用した除排雪管理システムを実現し、市民生活に役立てることを期待する」と述べたうえで、GPS端末を利用した除排雪管理システム導入の今後のスケジュールについて示すように求めました。

八戸都市整備部理事は「導入の範囲について、少ない経費で効果的にシステムを運用するため、幹線、補助幹線作業する重機約260台にGPS端末の搭載を予定している。システム構築や運用にかかる企画提案能力や実績などの観点から総合的に委託業者を選定するため、11月中旬にプロポーザル方式で当該業務に最も適した業者と契約する。その後は、システム開発業者との打ち合わせ協議を行い、対象路線に対応できるようシステム構築を行った後、平成29年2月ごろから稼働を見込んでいます」と答弁しました。

かさい市議は「凍結防止剤の散布車両についても効率の良い回り方を検証するために、GPS端末を搭載する必要があります」と指摘し、都市設備部理事は「今後、散布車についても導入を検討する」と答えました。

GPS：衛星測位システム、導入すれば、車両の現在地、これまでの移動の軌跡を把握することができる

南スーダンPKO派遣

自衛隊員を戦場に送るな

アフリカの南スーダンの首都ジュバでは、7月初めに政府軍と非政府軍戦力との間の戦闘が再燃し、これまでに少なくとも300人以上が死亡したと報じられています。

11月から派遣される「第11次隊」は、青森市の第5普通科連帯の自衛隊員を中心に編成される方針が示されています。本市の自衛隊員が「駆けつけ警護」や「宿营地共同防護」など安保関連法の最初の任務を担うことになれば、まさに「殺し殺される」事態になりかねません。

村川みどり市議は、南スーダンPKO派遣について質問し、市民の声を紹介しました。

「孫が『南スーダン派遣に打診された』と言ったとき、娘と泣いた。何で銃を持つて外国に行かなきゃならぬんですか」

「40代幹部自衛官の息子を持つ二元自衛隊員は、『人間なら子どもを戦場に送りたいと思いませんよ』

また、「軍事研究」という専門誌では、「駆けつけ警護 自衛隊は戦死者続出」と書き、「自衛隊の海外派遣において、駆けつけ警護が開始されたのであればIED(即製爆発装置)による爆発に合い、手足を失う負傷者が出ることだろう。2020年パラリンピックでは、そうした自衛官が選手として出場するかも知れない。駆けつけ警護を行うことは、こうした覚悟が必要である」と述べられていることも紹介しました。



9月6日 一般質問を行う村川みどり市議

「専守防衛」の志を持つて入隊した自衛隊員のみならず、震災復興や被災地支援で汗を流している自衛隊員を、四肢を失うような目にあわせていいのか、これがいま一番問われていることです。

会派控室移動のお知らせ

現在議会議棟で大規模な耐震補強工事が行われています。これまで共産党会派控室は議会議棟2階にありましたが、今年10月3日から来年3月31日まで議会議棟4階の元第2委員会室へと移動しました。

た。共産党市議団に相談などでお越しの際はこれまで同様にお越しくださいますようよろしくお願い申し上げます。